

「思春期の性を育てる」

- (1) 自己肯定感をはぐくむ（自分の存在を「良きもの」としてとらえられる）
⇒周りからどのように扱われてきたか（別紙参照）
自分のからだ、いのち、性を肯定的に受け入れられる
- (2) 思春期とは何か
⇒生涯においてどのような意味を持つ時期か、性ホルモンの急激な分泌の変化に伴ってひき起こされる生理的、心理的な揺らぎの大きな時期
・・・アンバランス、アンステディ、コンプレックス
a.女子の性的成熟への深い理解・・・月経の学習、生涯の健康と言う観点
b.男子の性的成熟への深い理解・・・射精学習のすすめ（生殖能力のこと）
セルフケア、セルフプレジャー
c.性の多様性への深い理解・・・いろいろな性のあり方、自分もまた多様な中のひとり

性的成熟と精神的自立へ向かう葛藤の時期

依存から自立へ — 「社会化」と言う課題

保護から支援へ — 同性の年長者の存在の意味、少し距離をおいた伴走者

(3) 子どもへの対応

初経、精通の前と後の関わり方を変える

一前：性に関する質問は基本的に「いのちの成り立ち」に関すること

一後：性の課題は「人権（共生）と健康」に関すること

親（大人）も改めて「性」と「生」を結び付けてしっかり学ぶことで子どもと正対できる

親（大人）がどう「性」を生きてきたか、生きていくかが問われる

子供はやがて親から離れて生きていく

子育ての終わりは「子別れ」

以上

<自己肯定感を高めたり、おとしめたりする働きかけ・ふるまい>

	相手の存在や価値を認める 肯定的な働きかけ		相手の存在や価値観を軽視・無視したりする 否定的なふるまい (ディスカウント)	
身体的な (肌の) ふれあい	なでる 抱く キスする ほほずり 手をつなぐ、握る 肩をくむ ふざけっこする 指相撲 爪を切る 耳掃除 一緒に風呂に入って 洗ってやる	髪をとく 相撲をとる マッサージをする 指圧する 手当てする	なぐる 蹴る つねる 髪をひっぱる おさえる ひじ鉄砲をする ぶつかる 物をぶつける つきとばす 押す ひっかく かみつく	ひきずり廻す せっかん
精神的な (心の) ふれあい	ほめる うなづく ほほえむ はげます 会釈する 拍手する 目礼する 一緒に喜ぶ あいさつする 話しかける プレゼントする 相手の目を見る	ねぎらう 相手の話をよくきく 手紙を書く わけが分かるように本 本気でしかた 信頼する まかせる 身をのり出す	皮肉をいう にらむ いやみをいう けなす 嘲笑する 冷笑する 目をそらす 顔をしかめる ソップを向く 命令する、禁止する 疑いをかける とりあわない	無視する 過剰な干渉 過剰な保護 とりあげる 嘘をいう かげ口をいう 無関心 仲間はずれ 情報を流さない

条件付きの愛情

条件なしの愛情